第 | 回 これからの図書館を考える市民ワークショップ 実施報告

- ▶ 開催日時:令和5年 | | 月23日(木・祝) | 10:00~ | 2:00
- ▶ 開催場所:西駅交流センター 3階ホール
- 参加者:44名(うち司書2名) 10代~80代(男性20名、女性24名) ※申込人数 45 名 (男性 21 名、女性 24 名)
- ▶ 傍聴者:7名
- 容:~これからの図書館についてみんなで考えよう~ ▶ 内 テーマ:「図書館の良いところ、悪いところを言い合おう」 「これからの図書館を想像してみよう」
 - ●挨拶及びワークショップの趣旨、方向性の説明(市長)
 - ●グループワーク
 - ●他市事例紹介(東西図書館司書) (札幌市、瀬戸内市、豊橋市図書館)
- 図書館再編アドバイザー:常世田 良氏(舞鶴市図書館協議会副会長)
- > ファシリテーター:谷口 知弘氏(福知山公立大学 地域経営学部 教授)

>	ブループワークで出た意見	4	
	良いところ	悪いところ	これからの図書館
施設		・駐車場が狭い	・おしゃれな空間
		・建物が狭い	・ワクワクする外観と入った時の
		・建物の中が暗い	印象を考える
		・建物が古い	・明るく(採光)どんな年代にも老
		・何を目標にした建物か不明	若男女がオープンスペースで語ら
		・読書するスペースが少ない	う
		・東の研修室の利用が少ない	・フレキシブルな間取り、自由空間
		・東の窓側の一人掛けの席は生徒	・設計者は安藤忠雄に指定する
		の利用が長時間で他の人が使え	・椅子の多様さと数量
		ない	・パソコンを利用できる個人スペ
		・トイレが古い・洋式がない	ース
		・トイレが寒い	・飲食できるスペース(カフェ含
		・個人の蔵書を受け入れるスペー	む)
		スがない	・カフェ
		・お話の部屋がない	・ここでしか食べられない特別な
		・自習スペースがないところがあ	メニューがある飲食スペース
		3	・地元の食材で料理

- ・リラックスできる場所があまりない
- ・のんびりくつろげる場やスペー スがない
- ・楽しい雰囲気があるスペースが あるとよい(飲み物が出る等のス ペース)
- ・研修室が少ない
- ・自習室は個室が良い
- ・勉強スペースが少ない
- ・エントランスを含めどこにいて も狭く感じる空間になっている
- ・本を読めるスペースが少ない
- ・テーブルと椅子が少ない
- ・図書館が単独の建物である
- ・ソファーが古くて汚い
- ・雰囲気が暗い(証明?)
- ・子どものコーナー狭い
- ・座り心地のいい椅子がない
- ワイワイ喋れるところがない

- ・ツタヤ、スタバでなく、地元の雇用(障害者雇用)ができるお店にして欲しい
- ・子どもたちが声を出せるスペースがある
- ・にぎわいのある空間も欲しい
- ・ゆっくり寝転がれるスペースがある
- ・子どもたちにゆっくりお話がで きるお話の部屋が欲しい
- ・子どもが館内を素足で動き回れる場所(床は杉板暑さ5cm以上)
- ・分館は図書だけでなく、多様な訪問者に居場所を提供できる場が欲 しい
- ・分館に学習室が必要
- ・避難スペース
- ・いろいろなバリアフリー
- ・複合施設が合体することが必要 ではないか
- 話せるスペース
- ・一人になれる静かなスペース
- ・世代別ニーズに合わせた施設の 貸出(コワーキング・オンライン交 流会他)
- ・駐車場の確保
- ・東図書館をそのまま続けて欲し
- ・東図書館を今と同規模の地域図 書館として残して欲しい
- ・いろいろな人が集い交流できる 場所
- ・多様性を持つ場所
- たくさんの自習スペース
- ・屋外で読めるスペース、ゆっくり できる場が欲しい
- ・ロッカーがある図書館
- ・樹木に囲まれた図書館
- ・将来書庫の増築を予定したスペ
- ースの敷地をあらかじめ確保する

			・立地を活かして幼児コーナーか
			ら電車が見え、手が振れる
			・外観を含めて明るい雰囲気にあ
			ふれた図書館
			・質素であたたかみのある基本的
			な機能が充実した図書館
			・明るくきれいなトイレがある
			・薪ストーブの炎がある
			・多目的空間で固定観念のないス
			ペース
			・開放的なスペース
			・トークショーや講演会、アート等
			の展示室
			・複合施設の一部として図書館を
			作る
			・図書館自体のことだけではなく、
			どういう複合施設にするか
			・複合施設にカフェ(スタバ)など
			商業施設も入れる
			・高齢者がゆっくりできる場所
			・ギャラリーなどのイベントスペ
			ース
			・魅力ある建物
			・若者が集える場、喋れるところ
			・男性がゆったり居れる場所(趣味
			の本など)
			・広い学習室
資料	・さまざまな種類の本があ	・新刊が少ない	・DVD なども充実してほしい
	3	・専門書が少ない・古い	・郷土資料を充実、借りやすくして
	・無料でたくさんの本を読	・本が古い	欲しい
	める	・言語関係(韓国語・母国語等)少	・子どもの自由研究に役立つ
	・買う前に試し読みできる	ない	・舞鶴のことについて調べられる
	・蔵書	・マンガがない	・舞鶴の戦前戦後の歴史関係書籍
	・思いがけない本に出会え	・歴史マンガの本がほしい	を集める
	3	・雑誌が少ない	・蔵書を増やす
	・地域の歴史資料が多い	・参考書がない	・問題集、参考書など勉強のための
		・目的の本がない	本を置く(学習支援)
		・本の数が少ない	・大型絵本
		・基本的な本が不足している	・まんがコーナー
		・汚れた本が目に付く	
<u> </u>	<u> </u>		

	T		
		・予算が減ってからリクエスト購	
		人が減った	
		・新刊はリクエストしても時間が	
		かかる	
		・CD の本が少ない	
		・昔の新聞、マイクロフィルムが	
		ないので調べ物ができない	
		・マイナーな分野の作家の本は手	
		に入りにくい	
		・人気本はなかなか借りられない	
人	・親しみやすい	・司書のレファレンスに差がある	・学校専門の司書または図書館担
	・施設の不足分を司書が補		当の教員を設置する
	っている		・司書はインターネットだけでな
	・職員が親切・優しい		く、地域の中で人とコトをつなぐ
	・司書の対応が的確で丁寧		情報を
	・利用者の気持ちを察し一		・ボランティアが運営に参加しや
	緒に本を探してくれる		すいシステムを検討して欲しい
			・図書館サポーターになりたい
			・展示ディスプレイに参加したい
サービ	・たくさん本が借りられる	・本の並べ方がわかりにくい	・図書館に行けない子にも図書サ
ス	・本が I5 冊借りられる	・飲食ができない	ービスを
	・本の取り寄せができる	・開館時間を早めて欲しい(9:00	・読みたいもの、調べたいことがす
	・電子図書館がある	~)	ぐわかるようなシステムになれば
	・本の検索ができる	・閉館が早い	····
	・閉館中でも返却できる	・図書館内で使えるパソコンがな	・紙の本を楽しめる場所であって
	・開架式	ι, ·	欲しい
	・テーマ展示がよい・工夫が	·Wi-Fi がない	・働き盛りが行かざるを得ない図
	ある	・インターネット環境がない	書館とは…?
	・子ども向けのテーマ展示	・おはなし会等が少ない	・どこからでも本を借りたり返せ
	がわかりやすい	・借りたところでしか返せない	たりできる
	・お正月の福袋が良い	・レファレンスをしているか	・中央館から分館へ、データが画面
	・西のおすすめコーナーが	・もう少しデジタル化のものがあ	で見られる
	よい	ればよい	・分館で本が受け取れて返却でき
	・赤ちゃんと母親へのサー	・紙芝居探しにくい	ઢ
	ビスが良い		・デジタル化による分館の充実
	・子ども向けの催しが多い		•移動図書館
	・子どもの年齢にあったお		・イベントで移動図書館による広
	はなし会		報
	・催しが増えた		・催しの継続・開催
	・両図書館で催しをしてい		・開館時間の延長
	るのはよい		・無料の送迎バス

	・見学を快く受け入れてい		・コミュニティバス
	3		│ │・Wi-Fi 必要
			・駅で返却できる
			・自動貸出機欲しい
			・学校支援も
			•不登校支援
			・スマホで貸出
			・身近なところで本が借りられる
			・図書館に行かなくても情報提供
			を受けられるサービス(メールで
			レファレンス等)
			・オンライン予約を郵送できる貸
			出
			・イラストでわかりやすい表示
			・図書の分類は本屋さんと同じに
			・コンピューターが使える
			・病院、施設などにもライブラリー
			を
その他	・自分の興味のないことで	・学校へのアプローチを増やして	・若い人の利用が多くなるとよい
	も出会いがある	欲しい	・老若男女、できるだけいろいろな
	・知識を得られる	・新聞の前月分の閲覧は職員に申	人にとっての居場所に
	・興味のある本を探せる	し出ないといけない	・気軽にいつでも行って元気をも
	・子どもの興味のあること	・郷土資料等の地域出版物は開架	らえる居場所であって欲しい
	を一緒に探せる	されてなく申し出が必要	・気軽に寄れるパブのような感覚
	・学ぶ場所がある	・若い人を呼び込むしくみがない	の図書館
	・学べる無料施設	ので受験生くらいしか来ない	・スーパーに行く感覚
	・無料で勉強できるスペー	・もっと情報発信があっても良い	・一人一人のニーズに合った図書
	スがある	・多様な市民のニーズに応えきれ	館
	・カードを忘れても貸出が	ていない	・スタバとコラボのような気軽さ
	可能	・新聞を読む人が長時間ソファー	・本を通じて人がつながるきっか
	・調べものに便利	を占有している	けができる図書館
ĺ	1 + 2+ 2 + 18 2 2m 18 4 m	±4 1 + + > -	一十日の何田バタノショ しこわり

・静かにしないといけない(注意

・知人と会話しづらい(会話でき

・小さい子どもが自由に喋れない

・よく喋る子は連れて行きにくい

・静かにしないと叱られるので子

どもが行きたがらない

される)

る場所がない)

・市民の利用が多くなるよう各世

代の利用しやすい方法を考えて欲

・コミュニティの場としての機能

・中央館とつながり分館の本が他

館に出て、分館しか行けない人が

・ゆったりした時が過ごせる図書

借りれないのは複雑

しい

の充実

館

・本を読みながら調べもの・静かすぎる

・子どもと行ったらとりあ

・地域の人とのコミュニケ

ーションの場としての機能

ができる

もある

えず楽しめる

・未知に出会える

・人との交流が深まる

- ・比較的年配の人が集まっ ている
- ・年配者が利用しやすい
- ・自然豊かで心落ち着く環 境
- ・街の便利な場所にある
- ・静かで集中できる
- ·一人になれる
- ・静か
- ・子育て世代にとっては出 かける場所
- ・休日子どもが母親と来る
- ・現在の図書館になって図 書館らしい図書館を利用で きた
- ・東西図書館があることで どちらも利用できて都合が よい
- ・こじんまりして親近感が ある
- ・スペースが小さいので探 しやすい
- ・夏涼しく勉強できる
- ・自宅から近い
- ・利用者が育てている
- ・分館は東西図書館の予約 待ちの本がすぐ借りれる
- ・分館の本が少ない分子ど もは選びやすい

- ・東の軽読書コーナーが子どもた ちのコーナーに近くて気を遣う
- ・子どもが小さいとき騒がないよ う気を遣った
- ・本好きの子どものみの居場所と なる
- ・少し入りづらい(緊張する等)
- ・利用減少に戸惑う
- ・本以外の魅力がない
- ・読む以外の楽しみがない
- ・本のみが目的となっている
- ・図書館が東西に分かれている
- ・図書館が分散していて蔵書規模 が小さい
- ・交流の場になっていない
- ・知っている人しか利用していない(リピーターが多い)
- ・図書館から周辺の風景が楽しめない
- ・花畑が見えるか
- ・細かくスペースが分かれていな い
- ・利用率低い
- ・本のスポンサーへのリスペクトがもう少しあっても良い
- ・皆が気軽に立ち寄れる雰囲気が 乏しい
- ・8 年の遅れ、図書館先攻
- ・書庫に自由には入れない
- ・紙の申請を電子化に…(悪いと ころでもあり良いところでもあ り?)

- ・観光客も入りやすく
- ・舞鶴を PR するところ
- ・舞鶴の人・企業のための情報発信 スペース
- ・「静」と「動」コミュニケーショ ンできる場に
- ・情報の in と交換のスペースに
- ・今ある本の情報の取りやすさ
- ・市外の人の誘導
- ・舞鶴高専とのコラボ(産業クラス ター・飲食・雑貨など)
- ・京大水産実験所や高専等と連携 した図書館
- ・大学図書館との連携
- ·専門家特化
- ・人々の図書離れに不安を感じる
- ・利用者を増やすよう分館の検討 が必要ではないか
- ・市民の小さな声をしっかり取り 入れて
- ・遠くても行きたくなる図書館
- ・学生中心で議論
- ・不要になったおもちゃの交換会 があると良い
- ・図書館を利用したことにない人 に利用してもらうための何か
- ·観光案内所機能付図書館
- ・五老ヶ岳をのんびり眺めること ができる
- ・+ 児童館機能: 子どもが一人でも 遊びに行ける、子どもの居場所
- ・+公民館機能:人が集える場所、 つながり作り
- ・+ 第 3 の場所: 職場や家庭以外の くつろぎの場
- ・+起業支援、情報支援:舞鶴の課 題に応える
- ・+ ビジネス交流スペースがあれ ばいい
- ・舞鶴市全体のまちづくり

・引揚記念館とのタイアップで舞
+6 + -1 0
鶴をアピール、図書館の特色を出
व
・一日中楽しめる場所にして欲し
l.
・市民の関心のあることの学習会
を開いて欲しい
・市の現実に則した中身(地域の人
が気軽に立ち寄れる)
・学校に行きにくい悩みを抱える
学生が行ける
・どの世代にも開かれたスペース
(利用率あがる)
・観光客も訪れる場所に
・日本中から視察にも来られるも
o o
・お金は集める(スポンサーとして
企業も参加)
・課題解決は宿題の手伝いはでき
ないというけれど、今の学習は図
書館の力が有効と思う
・町中に小さな図書館を作りつな
げる(喫茶店、まちライブラリーな
と)

▶ ワークショップの様子













▶ 意見シート





















